

# 流行ものから

## 見えるもの

### ハイボール人気を生んだ秘密とは!?

#### 決め手はキメ細やかな作戦

売り上げの低迷が続くウイスキー市場で、二〇〇九年夏ごろから一大ブームを呼んでいるのが、小雪さんのCMでもおなじみの「サントリー角瓶ハイボール」。

その角瓶の売り上げは前年比31%の伸びを示し、併せて二十五年にわたり下降傾向だったウイスキー市場全体も10%アップ(うちサントリーは14%)を示しているようだ。

特に、ブームの後押しに大貢献したのが居酒屋を中

心とした飲食店。今では全国に二割強にあたる六万店でオン・メニューされるに至った。

◆ そんなハイボール人気を支える五つのポイントがありそう。

第一は、そもそも「ハイボール」は昭和三十年代のトリスバーで大流行した飲み方だが、今の若者にとってはフレッシュに映る。古いモノにもヒットの素材は隠れているのだ。

第二は、世代を超えて会話のネタになり、仕事場でのコミュニケーションづくりに役立つこと。

第三は、居酒屋を情報の発信基地にしたこと。売値・原価率の安い角瓶ハイボールは、価格競争を余儀なくされる飲食店(メーカー)にとって取引先にも魅力的な商材だった。

第四は、長引く不況で伸びている家庭内消費に絶好のアイテムだったこと。

そして第五は、CMなどで「ウイスキーの瓶を冷やし、ソーダと一対三で割る」という飲み方を訴えておいしさの品質管理にも努めたこと。

そうしたいくつものキメ細かい作戦の地道な積み重ねが、大成功を生んだ秘密といえそう。

さて最後に、そんなハイ

ボールに関するうんちく話を一つ。そもそも「なぜウイスキーのソーダ割りをハイボールと呼ぶようになったか?」

ルーツはアメリカの西部開拓時代。開拓列車の乗客たちの大きな楽しみは、車中でバーボンのソーダ割りを飲むことだったが、酒やソーダが切れたときには途中の駅で買い求めたくなる。そんな乗客を見越して、遠方から走ってくる列車からも見えるように「当駅に酒とソーダ水がありますよ!」というアドバルーン広告を出した。つまり空高く(ハイ)掲げる風船球(ボール)。部下や取引先の方々と居酒屋などで一杯、という席での酒のさかなにおひとついかが?

NML野村オフィス

代表 野村 正樹

## 会議所4月の動き

- 1日(木) ・ マル経審査会
- 5日(月) ・ 新潟県理容生活衛生同業組合  
新発田支部定期総会  
・ 第19回新潟職業能力開発短期大学校  
入学式
- 6日(火) ・ 第12回全国「花嫁人形」  
合唱コンクール会計監査  
・ 新発田税務署管内税務団体協議会役員会
- 8日(水) ・ 株式会社ショッピングセンター  
店舗運営管理協議会  
・ 新発田商工会議所青年部OB会  
(八日会) 総会
- 11日(日) ・ 第11回「食品団地DE春まつり」
- 14日(水) ・ 日商委員会~15日
- 15日(木) ・ マル経審査会  
・ 新潟県火災共済協代理所新任担当者  
研修会~16日
- 16日(金) ・ 第1回小規模企業振興委員連絡会議  
・ 社新潟県商工会議所連合会  
第1回運営委員会  
・ 新発田きらやか会総会
- 18日(日) ・ 新潟県社交飲食業生活衛生同業組合  
新潟県本部副理事長小泉智氏厚生労働大臣賞受賞並に創業五十周年記念  
祝賀会
- 19日(月) ・ 県制度融資説明会
- 21日(水) ・ 下越8商工会議所経営指導員研究会  
幹事会
- 23日(金) ・ 新発田市青色申告会総会  
・ 新発田市東部商工連絡協議会総会
- 25日(日) ・ 古御柱 拝受式
- 26日(月) ・ 新発田市中央商店街(振)監査会・理事会
- 27日(火) ・ 下越事務局長・相談所長会議会
- 28日(水) ・ 会社の決算と申告についての説明会
- 30日(金) ・ マル経審査会